

緩和ケアは看護の原点です。人間の苦痛を緩和することの意味や重要性を伝えていきたいと考えています。また、がんに対する第4の治療である緩和ケアが診断早期から認識され、提供できるように啓発活動をしていきます。

緩和ケア認定看護師

小野 芳子



山口赤十字病院

山口赤十字病院



緩和ケア病棟に勤務しています。緩和ケア病棟に入院された患者の辛い症状(痛みや息のえらさなど)が軽減するようかかります。

また、ご家族にも声かけをし、不安や心配事がないよう環境を整えて行きます。



緩和ケア認定看護師 原 淳子

患者さんが安心して手術を受けられるよう、術前から心理的支援を行い、術中看護の提供に努めています。また、術前から術後までの周術期の継続した看護の提供ができるように活動しています。

手術看護認定看護師

野口 真理子



入院する患者さんは、身体の苦痛に加え、うまく思いを伝えられなかったり、環境の変化から生じる不安等で、大変な精神的苦痛を生じています。安心・安全な療養環境の調整に努めていきたいと思ひます。



認知症看護認定看護師 原 陽子

緩和ケア移行における病状説明、症状緩和とそれに伴う薬剤の副作用、療養の場の検討などに関連した課題に直面された患者さん、ご家族、看護師を支援します。チーム医療の効果的な実践のため多職種と協働しています。

がん看護専門看護師 金子 美幸



昨年、がん看護専門看護師の資格を取得しました。緩和ケア病棟で勤務しながら、患者さん・ご家族の身体や心など様々な苦痛を緩和する援助だけでなく、スタッフの倫理的ジレンマへの支援も行っています。

がん看護専門看護師 光永 祐子



患者さんやご家族をはじめ来院される方々、病院で働く職員を感染のリスクから守るための活動を行っています。感染症の予防は、患者さんやご家族の協力も必要です。職員と共に感染対策に取り組んでいただくと幸いです。



感染管理認定看護師

神崎 多紀子

糖尿病の方やご家族の方に対して、「その人らしい生活」を尊重しながら治療と上手につき合えるよう支援をしています。必要なサポートを一緒に考え、寄り添った看護ができるよう心掛けています。

糖尿病看護認定看護師 澤山 恵



呼吸ケアサポートチーム(以下RST)の一員として活動しています。RSTでは、人工呼吸器装着患者に、医師、看護師、臨床工学技士、理学療法士、歯科衛生士がそれぞれの視点で、管理や早期の離脱に向けて関わっています。



集中ケア認定看護師 弘中 祐介

言葉で自分の欲求を伝えることのできない新生児の気持ちを代弁できるよう日々努めています。成長発達促進のためのケアや痛み軽減のためのケアに取り組んでいます。

新生児集中ケア認定看護師

竹中 陽子



病気や治療などで排尿障害を伴う事があります。排尿自立を促す活動や、適切な失禁用具・おむつケアの提案等を行っています。失禁ケアを通して、患者様の精神的・身体的苦痛の軽減や生活の質向上ができるよう活動しています。

皮膚・排泄ケア認定看護師

岩本 淑子



褥瘡専従看護師として、院内の褥瘡予防に取り組むと共に、褥瘡を発生した方の治癒を目指したケアの提供を院内のスタッフと共に行っています。また、褥瘡をもったまま自宅で生活される方の相談・訪問も行っています。

皮膚・排泄ケア認定看護師
特定行為研修修了

柳井 幸恵



ストーマ造設される方の術前から術後、そして退院後もその人らしく日常生活が送れるように、病棟や外来で継続的に関わっています。「トラブルのない健康な皮膚」が維持できるようスキンケアの提供と支援に努めています。

皮膚・排泄ケア認定看護師

江村 真弓



口から食べることは、生命を維持することだけでなく、生活の質に関わる行為になります。多くの方に「口から食べる楽しみ」を持ち続けていただけるよう、多職種と一緒に支援を行っています。

摂食・嚥下障害看護認定看護師

吉岡 慶美



外来化学療法では、安全な投与管理だけではなく、患者さんの生活にも 視点を向けたケアを大切にしています。治療中の方の電話相談等も行い、院内外でのサポートを目指しています。

化学療法看護認定看護師

鹿毛 沙智



* 専門看護師とは……特定の専門分野で患者さん・ご家族のケアを行う、看護のエキスパート。5年以上の実務経験と大学院等での専門教育課程を修了し、認定試験に合格することが必要です。
* 認定看護師とは……看護の特定の専門分野のスペシャリスト。日本看護協会の定める認定看護師教育(615時間以上)を修め、認定審査に合格することが必要です。合格後は5年毎に更新審査があります。